

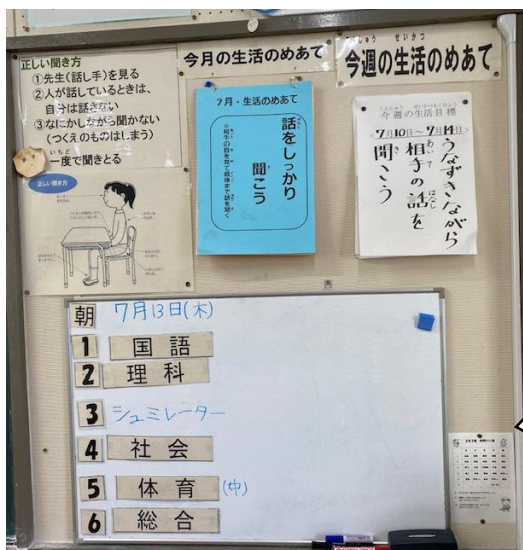
「個別最適な学び」に向けた取り組み

個別最適な学びとは

「児童生徒一人一人の理解力や個性に応じて、最適化された柔軟な指導を行うこと」です。文部科学省では「誰一人取り残すことのない学び」を掲げ、特別支援を必要とする児童生徒を含めた全児童生徒の学習レベル向上を目指します。

本校では「すべての児童が学習しやすい環境作り」を目指して、教室環境の整備をしています。

ポイントの1つは「視覚化」です。様々な物やことを「見える化」することで、児童が見通しをもちやすく、学習しやすくなります。今回はその一例を紹介します。



本校の教室全面向かって右側の掲示等は、この写真のように統一されています。向かって左側は、児童の刺激にならないように、何も掲示していません。

前面のホワイトボードには、児童が見通しをもちやすいように、1日予定が書かれてあります。



低学年の教室には、写真のような「タイムタイマー」が設置されています。残り時間を視覚的に捉えられます。